

## 平成28年度在宅医療・介護連携推進事業 第2回事業推進委員連絡協議会開催

H29年3月14日に第2回事業推進委員連絡協議会を開催  
1年間の事業報告と新年度に向けての活動について、協議を行いました。



在宅医療については、訪問診療を行っている個々の先生の負担軽減に向けての支援や連携体制を整えて行く必要もある。地域医師へ、在宅医療についての情報をどう伝えて行くかも重要な課題である。

在宅医療について、地域を担っていく若者や子供達にも将来を見据えた役割などを伝える機会も必要である。地域包括ケア構築のためには地域住民全体を対象としてイメージしていく事が重要である。

医療・介護従事者など専門職への在宅医療についての知識や意識向上のための研修会や意見交換会の場も重要である。

など、新年度に向けて具体的な活動を進めて行く上で活発な意見が出されました。有意義な協議会となりました。

鹿児島地域振興局

堀之内広子健康増進係長より

いちき串木野市の数値では看取りの件数は若干増えてきている現状がある。医療と介護の連携に今後期待しているとの助言を頂きました。

閉会のあいさつでは、花牟禮推進委員委員長より地域包括システム構築には在宅医療の占める割合は大きい、だからこそ、この事業はしっかりと進めて行く必要がある。医師会も協力するが、行政がしっかりと方向性を示して頂きたいと強く述べられました。